

評価表のまとめと改善目標

1. 工夫している点

今年度においては、利用児童全員が幼稚園・保育園の並行通園者であった為、保育所等訪問支援サービスを強化した。定期的に行っている面談の中で、訪問職員も同席し、心愛つう訪問職員から見たお子様の園での様子を伝えてもらうようにした。また、昨年度よりコロナ禍での開所が続き、引き続き施設内の清掃・消毒の徹底に努め、環境整備や対応を行い、感染しない・させないを子供に会った形で実践した。併せて幼稚園・保育園との情報共有にも努めた。
保護者が参加できない行事に関しては、写真や動画を撮り、見て頂けるよう整えている。

2. 改善目標

保護者アンケートより、並行通園児が増える中、保育園・幼稚園を介しての情報交換をきちんと行い、保護者との信頼関係づくりや伝える工夫が今後、とても必要になってくるのではないかと感じる。保護者とのより良いコミュニケーションは、子どもの育ちを支えるための大切な一歩となるのだと思う。また、《療育の必要性とは？》について改めて保護者への理解を促し、一人の子どもを保護者だけでなく療育・幼保園みんなで育てていく必要がある。以上のことから次の項目を改善目標とする。

《療育についての考え方を保護者(幼保園)と連携・
共通理解を図る》